

2020 卒業制作／研究 対象者向け 都市デザイン研究室オンライン説明会

① 4/13月 ② 4/15水 ③ 4/16木 各 12:20 - 12:50 @ ZOOM



都市デザイン研究室

① 事前登録URL ▼



② 事前登録URL ▼



③ 事前登録URL ▼



※説明会参加者は左のURLより事前登録をお願いします。
 ※問合せ先: nagano@ud.t.u-tokyo.ac.jp
 ※この日程以外や個別相談もご連絡頂ければ対応します。

【 過去の主な卒業制作／論文 】

● : 学会等出展作品、受賞論文・作品

≫ 卒業論文

- 「過疎地域の持続に向けた移住システムの創発プロセスに関する研究」: 徳島県伊予利地区を対象に各主体のヒアリングから移住システムを分析。
- 「『露店市』の開催空間保全のための空間特性把握とデザイン提案」: 露天市の現地調査を通じ、開催空間保全のデザインガイドラインまで提案。
- 「『地域景観像』の形成過程に関する研究—国立市大学通り周辺を事例として」: 国立を事例に各主体の景観イメージを分析。
- 「多摩田園都市開発における非駅前拠点計画の変遷と現状」: 田園都市開発の計画史を調査し、非駅前拠点”ビレジ”等の構想意図と以後の変遷を分析。

≫ 卒業制作

- 「在郷でありなす まち庭」: 地方都市近郊にある在郷町を対象に詳細な分析から在郷町の空間構造と資源を活かして、空間再生を提案。
- 「『沁透街巷』-台湾台南市における都市空間の漸進的更新設計」: 台南の空間構造に着目して、その生活空間の向上による都市更新を提案。
- 「田無エンノウ住区-土地と暮らしの農を通じた再編-」: 農道から準郊外の地域構造を再解釈し、農のある生活と駅前空間とそれを支える仕組みを提案。
- 「包み、和える。-博多の食がたむく包容と調和のcommons」: 博多の禅寺町の歴史的文脈を読み解き、食を介して多国籍性が共存する交流空間を提案。

都市デザイン研究室は常に実空間を意識して保全・継承・創造に取り組めます。都市部はもちろん、地方都市や集落、時には海外も含めて、全ての都市形態にアプローチします。あらゆる都市空間は歴史の産物であり意味・意図・意思が蓄積されています。それらを洞察するためには、**まちに飛び込む**ことが重要です。フィールドワークやヒアリング、ワークショップや社会実験を行ったり、集めた図面や文献を都市空間と照らし合わせたりを通じて**まちの個性のルーツ**を探ることで、守るべきもの・変わりつつあるもの・創っていくべきものを都市空間から教わるのです。私達はこれを都市空間の「構想力」と呼んでいます。この「構想力」にデザイナーの経験と「創造力」を加え、市民・行政・企業・専門家の全員が共有できる**都市ビジョンを発信**することを目指します。建設的な議論や伝える技術も必要となります。そういった**実践を理論化し、積み上げ、手法化するデザイン論の確立**も重要な役割です。

自主性を重んじる我々は、研究テーマの設定を学生各位の関心に完全に委ねます。右に例を挙げる過去の研究テーマはあくまで参考です。自分自身が納得のいくテーマを探り当てるところから、都市デザイナーの第一歩となる卒業制作・卒業論文の昇華まで、共に走り切ってくれる学生を歓迎します。



教授
宮城俊作 SHUNSAKU MIYAGI
≫ 都市環境デザイン、景観設計



准教授
中島直人 NAOTO NAKAJIMA
≫ 都市デザイン、都市計画史、都市論



助教
永野真義 MASAYOSHI NAGANO
≫ 都市デザイン、建築設計

